

婦人科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さん方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開し患者さんが拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 「卵巣がんにおけるオートタキシン発現と抗がん剤治療効果の関連性に関する研究」

[研究機関] 北海道大学病院婦人科

[研究責任者] 渡利 英道（婦人科・講師）

[研究の目的] オートタキシンの卵巣癌組織中の発現と抗がん剤による治療効果および生存率との関連を検討する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

卵巣癌の患者さんで、2000年1月から2014年12月の間に、婦人科で化学療法前後に腫瘍組織が採取されている患者。

●利用する検体およびカルテ情報

検体：摘出されて残った標本を用い、オートタキシンの発現に関する検査（免疫組織化学検査）を行います。

カルテ情報：年齢、性別、組織型、病期、予後、化学療法反応性など

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院 婦人科 担当医師 渡利 英道

電話 011-706-5941 FAX 011-706-7711